

意外に楽しい、3Dデスクトップ

Momonga Project
meke



3Dデスクトップって何？

- 普通のデスクトップ環境でOpenGL / DirectXを使い、UIを滑らかに綺麗にする物
- ゴーグル付きとか、ジェスチャーで動かせるとか、未来的なすっごい奴では有りません



2006年は、3Dデスクトップ元年

- Xgl / Compiz が発表された!
- AIGLXも発表された!
- LookingGlassも来てるぞ!
 - でも、今回は省きます
- WindowsVistaも今年出るって…言ってるぞ!
 - こっちもスルー



3Dデスクトップの利点

- CPUの処理をGPUが肩代りしてくれる
 - ウィンドウの移動がプルプル・なめらか
 - エフェクトが見てて楽しい
 - 半透明

これだけやっても、重くならない



3Dデスクトップの弱点

- 対象ハードウェアがそれほど多くない
 - X.orgのドライバ : ATI、Intel
 - メーカー謹製ドライバ : nVidia、ATI
- Xglを使う場合は、メーカー謹製ドライバじゃないと実用に耐えない
 - メーカー謹製ドライバは設定がめんどい
- AIGLXは比較的軽いので、X.orgのドライバでも動きますが…



3Dデスクトップの構成要素

- X Server
 - Xgl
 - AIGLX
- WindowManager
 - Compiz
 - Beryl



X Server

- Xgl (Novell)
 - OpenGL上にXサーバを構築
 - メーカー謹製ドライバじゃないと、使いものにならない
 - 少なくとも、私の環境では…
- AIGLX (RedHat)
 - XorgのOpenGL拡張
 - Xglよりは軽い
 - バイナリは通常のX.orgと同じ



WindowManager

- Compiz
 - Xglと一緒に発表された物
 - 最近は開発が停滞風味
 - 最近はAIGLXにも対応してます
- Beryl
 - Compizの不甲斐なさにforkされた物
 - 旧名 : Quinn-Compiz
 - 設定ツール等が充実してる



現在のお薦め

- AIGLX + Beryl

- 軽い
- 設定が簡単 (設定のコストが)
- 機能充実

速い
安い
美味しい

まさに…



「X業界の吉野家やわー」



せっかくなので、動作デモをやります

- IBM ThinkPad X31
 - PentiumM-1.6GHz (1GHzまでしか出ない。orz)
 - ATI Mobility Radeon 7000
 - Radeon X1xxx -> Xxxx -> 9xxx -> 8xxx -> 7xxx
 - 既に4世代前のチップ。さらに、Mobility
- ハデハデなデモは無理なので、
実用重視(?)ということ。



デモ

- 仮想デスクトップの移動
- ウィンドウリスト
- デスクトップを表示
- 最小化
- 最大化



まとめ

- 意外に軽いんです
- 滑らかになるんです
- 楽しいんです

「プルプルがキンモー☆」

とか言わずに、使ってみてください



終わり

- 御静聴ありがとうございました

